

国保ヘルスアップ事業を踏まえた 市町村国保における保健指導の事例集 ～ 円滑な特定健診・特定保健指導の実施のために ～

本書の構成と使い方

- ・本編、事例編、参考資料の3部構成からなることを説明。
- ・本編は短く分かりやすくし、詳細は事例編に掲載していることを説明。

はじめに

- ・作成の目的など記載。

1. 円滑な特定健診・特定保健指導の実施 <本編>

- ・課題別に、現地調査結果を活用して、対応策を考える際のヒントとなりそうな取組みを紹介。
- ・課題と対応例は、以下のとおり。
(※ 以下、“・”は記載する内容の案)

(1) 計画づくりと評価

- ・Plan (計画)、Do (実施)、See・Check (評価) の重要性
- ・国保部門と衛生部門の連携形態と利点、留意点

特別加算事業における取組み例

- ・健康長寿課内に国保部門と衛生部門を配して連携している。(日南市)

(2) 健診結果・レセプト分析の活用

- ・地域の病態分析 の重要性
- ・ポピュレーションアプローチとの連携

特別加算事業における取組み例

- ・介護保険、国民健康保険、基本健診などのデータを小学校区ごとに集計し整理した「地域健康づくりデータベース」を構築し、地域単位で住民の健康状態を把握している。(北九州市)
- ・被保険者の健康実態分析を行い、地域の実情を考慮して生活習慣病対策を展開している。(尼崎市)
- ・被保険者の病態分析を行い、各地域の自治会にて結果説明会を行い、地域ぐるみの健康意識の高揚を図った。(君津市)

(3) 実施体制の構築

- ・魅力的な受け皿（保健指導プログラムと実施パターン）の用意
- ・医師会、栄養士会など専門職団体との連携
- ・地域の多様な団体、組織への働きかけ

特別加算事業における取組み例

○未受診理由の確認

- ・過去5年間健診未受診者を対象にアンケート調査を行い、未受診理由等を確認した。（宜野湾市）

○魅力的な保健指導プログラムの用意

- ・通信、出前など保健指導プログラムを複数用意し、親しみを持てるコース名をつけた。（宜野湾市、倉敷市、軽米町）
- ・セミナー、教室などは、同じ内容を2日間、あるいは午前・午後の両方で実施して、選択できるようにした。（軽米町、太田市、倉敷市）

○医師会など専門職団体との連携

- ・医師会の協力を得て、かかりつけ医による小学校区単位での保健指導実施体制を築いた。協力を得るために、事業の内容とともに、市として何を目標しているのか、資料を用いて詳細に説明した。説明に際し、事業の実施要領（マニュアル）と市民からの問合せを想定したQ&A集を作成し配布した。また、協力医療機関には特定健診ステッカーを配布した。（北九州市）

○地域の多様な団体・組織への働きかけ

- ・区長会、食生活推進委員等に事業の説明と協力依頼を行った。（御坊市）
- ・地域特産物（雑穀）をキッズメッセンジャーが家庭に配布し、生活習慣病予防の重要性をアピールした。このために、学校や保育園・幼稚園・児童館などにも協力を依頼した。秋祭りには山車まで用意して地域に広報した。（軽米町）
- ・ショッピングセンターで広報活動したり、既存のまちおこしグループや地域婦人連絡協議会、農協などへの働きかけを行った。（日南市）
- ・国保被保険者の業種構成を踏まえ、農協と漁協に協力依頼し集団健診を実施した（北九州市）
- ・司法書士会、社会保険労務士会、理美容組合、酒販組合、株式会社TMO（商店街活性化）に協力を依頼し、「頑張る尼崎市民を応援するサポーター企業」の募集と市民への紹介を行った。（尼崎市）

(4) 人材の確保・育成

- ・医師会、医療機関、専門職団体、民間事業者等との連携
- ・保健指導対象者の中から地域の核となる人材を育成

特別加算事業における取組み例

- ・運動教室を各地域で広範囲に実施するために、ボランティアを育成する事業を実施した。(太田市)
- ・プログラム終了者が、地域でリーダーとして活躍できるよう、活躍の場と機会を設けた。(日南市)
- ・医療機関における保健指導の内容と質をそろえるために、CD-ROMによる学習教材を用意して医療機関に配布した。また、医師会での研修の受講を義務付けた(北九州市)

(5) 事業の展開方法

- ・特徴的な取組みによる成果の向上

特別加算事業における取組み例

○保健指導の全員実施

- ・健診受診者全員に対して保健指導を実施した。そのために、健診受診の際に指導実施日を予約するようにした。(尼崎市)

○仲間づくり

- ・5～6人のグループワークで目標設定などを行った。いろいろな人の様子が分かること、定期的に顔を合わせることが継続に奏効した。(軽米町、日南市)
- ・グループ支援を多く取り入れたコースでは、プログラム終了後の自主グループ化につながりやすかった。(倉敷市)
- ・仲間づくりが有効と考え、運動施設にて集団運動教室を実施したり、レクチャー形式の栄養教室をワークショップ形式に変更したりした。(御坊市)

○運動実践の実施

- ・保健指導終了後も修了者が自ら運動実践を継続できるように、水中エクササイズコースを増設した。(宜野湾市)

○多様な企画事業を並行実施

- ・メタボマラソン 111 日チャレンジ、メタボ川柳の募集、健康マーチと健康体操の考案など、様々な企画を並行して実施した。(倉敷市)
- ・“2008 笑顔がいちばん 元気にちなんフェスタ”を開催した。(日南市)

○モデル地区の設定

- ・モデル地区を設定し、職員が 50 代を対象に戸別訪問して健診、保健指導への参加を促した。(宜野湾市)